

# 厚内公民館だより



令和4年8月25日発行  
発行責任者：厚内公民館長

8月1日～5日、新型コロナ感染予防の為、急遽臨時休館致しました。地域の皆さまに大変ご迷惑をお掛けしたことに衷心よりお詫び申し上げます。  
厚内公民館長

## 今月の特集

- ・新型コロナに感染した佐藤館長が語る
- ・今、伝えたい… 厚内空襲の証言

## 先行案内・秋の厚内公民館講座

### 子ども秋のアート教室開催のお知らせ

太平洋に面した厚内をモチーフに みんなで楽しく描きましょう。

日時：10月9日(日) 10時～12時

会場：厚内公民館

講師：鹿戸麻衣子さん



(元浦幌町地域協力隊常室ラボ担当・多摩美術大卒・絵画アクセサリー作家)

対象：幼小中生(幼児は親同伴)

持ち物：写生用具、画版と画用紙は公民館で用意します。参加料は無料です。※9月20日迄に厚内公民館へお申し込みください。

## 公民館講座

### 「ピザづくりに挑戦」

9月29日(木) 13時～15時

会場 厚内公民館 特設室

講師 坂下禮子さん

材料費 一人300円

持ち物 お持ち帰り用箱等

トッピングしたい野菜やハム・

魚介類等お好みの物

申込先 9月15日迄に厚内公民館へお申し込み下さい。



## 公民館カフェ MOCHIYORI 喫茶かもねぎ

9月29日(木) 14:00～16:00 Open

無料です!

参加自由の厚内公民館カフェです。各自おやつを持ち寄りお喋りしながら楽しい時間を過ごしませんか!卓球台・ポッチャや子どもたちの遊び道具もありますよ!

## 8・9月の予定

8月24日(水)	花いっぱい運動(4区担当)
26日(金)	公民館カフェ「かもねぎ」
29日(月)	寿大学「お話しピアノ」
31日(水)	寿かもめクラブ
9月2日(金)	懐かしの映画会
5日(月)	健康カラオケ
7日(水)	寿かもめクラブ
12日(月)	ふまねっこの会
13日(火)	懐かしのレコードコンサート
14日(水)	花いっぱい運動(5区担当)
15日(木)16日(金)	マイナンバーカード申請受付
18日(日)	厚内地区敬老の日(記念品贈呈のみ)
20日(火)	マーじゃん体験教室
21日(水)	寿かもめくらぶ
23日(金)	公民館移動講座「化石採集会」
26日(月)	ふまねっこの会
29日(木)	ピザ作り教室 公民館カフェ「かもねぎ」
30日(金)	懐かしの映画会

## 厚内公民館ミニ移動講座(地域探訪)

### ・新第三紀の厚内を探る・化石採集会

化石を採集しながら、アロデスムスがいた

1500万年前の厚内に想いを巡らせませんか!

日時：9月23日(金)

午前10時集合・出発～正午頃まで

講師：井上清和さん(帯広在住化石研究家)

集合：浦幌町厚内公民館(厚内駅前)

行き先：厚内オコッペ川 上流

申込先：厚内公民館(電話 015-578-2407)

※締切 9月9日

定員：10名(小学生以下保護者同伴)

※現地までは乗り合わせて移動します。

※持ち物等：軍手・長靴・袋・ハンマー・飲料水・虫除けスプレー。クマよけスズ・長ズボン等野外に適した服装でご参加下さい。雨天、増水・濁水・クマ出没時は中止します。



## 公民館講座「初心者マーじゃん体験教室」

日時 9月20日(火)

13:30～15:00

会場 厚内公民館

※頭と指先のリフレッシュにいかがですか。

## 厚内地区の敬老者の皆さまへ

### 敬老の日を迎え、ご長寿を祝福申し上げます

謹啓 敬老の日を迎える運びとなり、皆様におかれましては益々のご健康のことと心よりお祝い申し上げます。

厚内地域を代表してお祝いを申し上げます。

日頃より地域の活動でお世話になっております皆様をご招待して長寿と健康をお祝いする厚内地区敬老会を来る9月18日に開催したいと考えておりましたが、未だ新型コロナの終息が見えず、感染対策上、今年も中止することにいたしました。

直にお会いしての交流が出来ず残念ではありますが、敬老のお祝いとして敬老対象者の皆様(満75歳以上、65名)に、浦幌町、浦幌町社会福祉協議会、直別・厚内各行政区からの「お祝いの品」を9月18日にお届けいたしますのでお受け取り下さい。

皆様には、これからも変わらず親しくお付き合いできますように、益々のご健康をご祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

敬老の日、おめでとうございます。

敬 具

厚内地区敬老会実行委員会  
実行委員長 橋本 進



7月26日、厚内寿大学の社会見学が行われました。今年の見学先は「上土幌町ナイトイ高原牧場」と「道の駅おとふけ なつぞらのふる里」の二ヶ所。公共では日本一広い、総面積1700ヘクタールの牧場。遠くにゴマ粒のように牛の群れが遠くに見え、高原の清々しい空気と陽光を全身に浴び気持ちの良いひと時を過ごしました。

なつぞらのふる里では、生産者の想いが込められた豊かな農畜産物を食材とした多くの「美味しいもの」に出会うことができました。



## 特集 公民館長 新型コロナに感染!!

不覚にも七月下旬に新型コロナに感染、公民館活動の遅滞を余儀なくされ、地域の皆さんに多大なご迷惑をかけてしまったことに衷心よりお詫びします。発症から自宅療養し八月八日から平常勤務させて頂いております。症状の経過等をお伝えしますので発症時の参考にしたいだけだと思います。

### 発症時の初期症状と対応は

当初、夏風邪のようなだるさでしたが、体温は平熱。その内、喉の奥がヒリヒリし、うがいをしても改善せず。熱が出たので簡易キットで検査するも陰性。翌朝、診療所に行きましたが、熱が有るのなら24時間後に抗体検査を下さいとの事。症状を伝えて解熱剤3回分と喉シロップを頂き帰宅。その夜、39度8分に、頭と脇を冷やしこまめに水分をとりながら胸部を温湿布して過ごす。明けて、予約時間に診療所へ、抗体検査は陽性反応。以降は保健所からの指示にしたがって下さいという事で診察は受けられず帰宅。職場上司に連絡して自宅療養へ。高熱で痰が絡み声も出ずらい状況が二日ほど続く。陽性判定後三日目に保健所からメールが届き、健康状態(体温・血中酸素濃度等)を日に2回定期的に報告せよとの指示。この頃には熱も喉も回復。陽性判定後は重篤者以外は自宅療養になるので日頃から解熱剤や水・食料備蓄の必要性を改めて感じたところですので。質問があればお受けいたしますのでご連絡下さい。



道から届けられた自宅療養セット 展示中

◎地域で進めよう!! 「挨拶」「早寝、早起き、朝ごはん」「ノーテレビデー」「家読・朝読」運動

◎町民みんなで体力づくり!!

◎小中一貫コミュニティ・スクールの推進

浦幌町教育の日(毎日が教育の日です)





特集 厚内公民館小企画展「終戦記念展示会」・「戦争体験を語る」・8月12日

終戦記念展示会

8月4日(月)～8月12日(日) 12:00～14:00(入場無料)

7月13日、厚内花いっぱい環境整備が公民館前花壇で行われました。この日は厚内1・3区が当番で野々村さんを含め数名の方が草取りに訪れ、終了したあと皆で歓談中。今年も終戦記念日を迎えるが77年前の7月この厚内で大変な事があったんだという話が出、野々村さんが「その時のことは良く覚えているよいつか話したいと思っていた」とのこと・・・その場で、「終戦記念展戦争体験の語り部」をお願いしたところ即快諾していただき8月12日をむかえました。新型コロナの影響で参加者は関係者も含めて6人でしたが約1時間半、貴重な証言をいただきました。参加された方からも体験話やご質問もいただきましたので皆さんの理解を得てビデオ収録し記録に残すことにいたしました。その一部を紹介します。

今回は、厚内在住 野々村壽さんの証言の一部を紹介します。

私は厚内生まれの厚内育ちです。厚内空襲があった時、我が家は太子寺の裏(南側)にありました。父が昭和初期に建てた木造住宅で私は母と二人暮らしでした。父は私が生まれて直ぐに旭川の熊部隊に入隊、昭和13年に支那で戦死しました。

空襲があったのは昭和20年7月15日午前6時頃です。ちょうど母が朝食を作っていました。

「薪を焚いて煙を出すと敵の飛行機が見つかる」ということで、母は外で七輪に火をおこしていました。

私が覚えている空襲の始まりは、当時、我が家の近くにあった厚内神社の境内にあった大きな3本のカツラの木の間を飛行機がすり抜けるように低空を飛んだときです。私はなんで低く飛んでいるのだろうと、ぼーっと見ていました。その時はまだ、敵か味方の飛行機かはわかりませんでした。見ていると飛行機は2回位旋回して戻って来ました。私の記憶では4機です。2機ずつ右回りと左回りへ違う方向から厚内駅へ向かっていきました。駅には給水のため上りと下りに車が止まっており、そこへ機銃掃射を仕掛けたのです。その音たるや、半端でない大きさでした。母と私は家から30m位の場所にあった4軒共同の防空壕へ逃げ込みました。二人ともうつぶせになって機銃掃射の音を聞いていると、ブス・ブス・ブスッと弾が何かに突き刺さる音が聞こえ、続いてバリバリと機銃掃射の音がしました。不思議と怖さはありませんでしたが何故かケツベタが痛くなった事を覚えています。他にも機銃掃射から逃げたときケツベタが痛くなったと言っている人がいました。何故かは分かりません。

機関車からは濛々と蒸気が噴き出していました。空襲の1・2時間後ぐらいでしょうか、「皆、逃げろ」というので駅裏の齋藤牧場の林へ逃げました。途中、攻撃された汽車に3人の兵隊さんがいたのですが1人が血を流しながら呻いていました。各汽車に機関砲があるということでその兵隊さんかなと思いましたがわかりません。そこから林に向かった時、わたしは恐い目に会いました。空から、バラバラッと何かが降ってきて木の葉を激しく揺らしたのです。あれは風ではありません。私は敵機が再び攻撃して空葉を落としたのではないかと考えています。機銃掃射より恐かったのを覚えています。「声を出したら敵に聞こえる」ということで声も出せません。今でも、2度目の空襲だと思っています。空襲で、防空監視所へ走って向かっていた16歳の林さんと鉄道官舎にいたとても元気な小6の安藤君、乗客だった直別の奥さんが亡くなりました。小学校にも無数の弾痕が残っていました。戦闘機の空葉が無数に街中に落ち弾頭も到る所に突き刺さっていました。当時、小学生は100人程いたので時間がずれていたら大惨事になるところでした。そのあと直ぐに疎開命令が出、住民の殆どが齋藤さんの山へ避難しました。私たちは大西さんの沢にいた島山さんのところへ避難しました。私は全身漆にかぶれ顔がポンポンに、薬も無いのでザリガニを潰して体中に塗ってしのぎました。1ヶ月後の8月15日、大事な放送があるということでラジオの傍に集まって聞いていましたが何を言っているの分かりません。日本が負けたということは後で知りました。

漆かぶれの治療のため釧路の病院へ車で通いましたが周りが焼け野原になっていました。そのわずか一月前に釧路の方から地響きのような音が連続して聞こえ空が真っ赤になっていたことを今でも鮮明に覚えています。終戦後、数年間は大変危険な思いをしました。海中投棄した弾薬などが箱ごと浜に打ち上がって来るのです。子どもたちが手榴弾を拾いそれを海に向かって投げて爆発させ遊んでいたそうです。ある時、高学年の子たちが厚内駅のダルマストープの上に手榴弾をのせて遊んでいたところ破裂して大怪我をしたこともありました。今では考えられない事です。亡くなった多くの人々のおかげで今の生活があります。戦争は絶対起こしてはダメです！

厚内花いっぱい運動スタート  
厚内2区・4区の皆さん  
第2回・第3回花壇整備ご苦労様でした

令和4年度厚内花いっぱい運動実行委員会  
実行委員長 橋本 進

第4回目の除草は、9月14日(水)午前9時からです。当番区は厚内5区です。宜しくお願いします。担当区以外でもお手伝いをお待ちしております。参加される方はハマネスカードをお持ち下さい。

お知らせいたします

厚内公民館玄関前アプローチ滑り止め改修工事のため、下記の日程で玄関が使えませんがご不便をおかけしますがご理解の程宜しくお願い致します。

工期 9月 8日(木)～11日(日)  
9月21日(水)～25日(日)  
仮設出入口 1階調理室外側ドア

厚内公民館小企画展延長

再び悲惨な戦争を繰り返さないために！

終戦後、77年が経過、人々の心から、あの時の悲しみ、辛い思いが風化しつつあります。平和の尊さについて今一度考えてみませんか？



懐かしの映画会

●九月二日 十三時より  
題名「生まれてはみたけれど」  
小津安二郎監督 昭和七年作  
●九月三十日 十三時より  
題名「東京の合唱」  
小津安二郎監督 昭和六年作  
会場は厚内公民館二階です。

懐かしのレコードコンサート

●九月十三日 十三時より  
映画音楽から歌謡曲まで

文芸厚内 白露の巻

四季の移ろいや日常の営みから  
生まれた言葉を紡いでみませんか  
※投稿をお待ちしています

川柳  
塩つまみ妻に内緒で足す旨さ  
甲子園一枝以外は貫い泣き  
ロケットが尾に顔打たれ乳搾る  
引揚げ船母は来ました舞鶴港  
皆川昭徳

俳句  
老いてなを前向く夏の駄句を詠む  
雲の峰ゲリラ豪雨の日本じゅう  
佐藤成子

短歌  
咲き誇る花々草木枯れ行くは  
哀れ姿運命悲しく  
満天の星空見あげ込み上げて  
どの星父母か涙の滴  
佐藤成子

俳句  
雨の矢に蛙隠れる谷地坊主  
目に映る秋色の君今何処  
誘蛾灯誰かならんや漆標  
稲妻に愛しき人の影浮かぶ  
園庭に稚児の足跡雨上がり  
佐藤成子

8月18日、厚内公民館図書室に新刊が100冊  
入りました。ご利用をお待ちしております。



あめふりのおおさわぎ  
しずかなおはなし  
たこやきようちえん  
妖精のキャラバン  
ゴジラ誕生物語  
皇室 94号  
風がいい島  
豆炭とパソコン  
「プチ鬱」解消法  
他 91冊

・・・ひとり言・・・

雨の合間を狙って公民館前庭の草刈りをする。十二分に雨水を蓄えた草はしなやかで密で美味しそう・・・ふと、小学生の頃家で飼っていた数頭のヒツジを思い出した。毎朝、小屋から出ると土手や野原に連れて行き長い鎖をつける。夕方迎えに行くと直径20メートルほどの円形サークルが出現。根元まで見事に食んで、鎖を外すと一目散に小屋へ駆け戻る。春は羊毛、冬にはマトン・・・謝！  
(雑草の逞しさに憧れる今日この頃です)